

ひなたぼっこ通信

2020年
8月号

ケアハウスから

「七夕」2階

7月7日は七夕。去年の七夕から1年が経ったのかと思うと1年って早いなと感じます。

七夕の1週間前、事務所の方が立派な笹を持って来てくれました。利用者の皆様と飾り付けをして、その後それぞれ短冊に願い事を書いていただきました。紹介させていただきます。

「コロナが無くなりますように」

「彼女が欲しい!」

「夫婦で長生きしたい」

「芸能人に会えますように」

「感謝を持てる人になりたい」

「家族に会えますように」

などで、それぞれに皆様の思いを感じました。

七夕当日は雨予報と聞きましたので、皆様の願いが叶うよう心を込めて彦星様と織姫様のイラストを書かせて頂きました。ひなたぼっこの皆様の願いを、きつと彦星様と織姫様が叶えてくれるはずです。私も皆様の願いが叶うよう祈っています。

来年は天の川が見えるといいなあ。



「土用の丑」1階

ケアハウスでは、7月21日、土用の丑の日の昼食に『ひつまぶし』ができました。土用の丑の日の意味について書きたいと思います。

土用は立夏、立秋、立冬直前の約18日間の期間を示す言葉です。昔の暦では日にちを十二支で数えられていたという事で土用の丑の日とは土用の期間に訪れる丑の事を指しています。

土用が毎年違うので土用の丑の日も毎年違ってきます。土用の丑の日は夏のイメージがありますが、立夏、立秋、立冬、立春をそれぞれにも土用の丑の日があるという事でした。いずれにしても土用の丑の日は季節の変わり目とも言われています。

今年の夏は土用の丑の日が2回来ます。7月21日は「一の丑」、8月2日は「二の丑」と呼ぶそうです。

昔から体調を崩しやすい夏にはうなぎを食べて栄養をたっぷり摂ろう。と言う考え方があったそうです。

体調を崩しやすい季節になってきたらうなぎを食べて夏バテしないようにしましょうー!(M)

宅幼老所から

「宅幼老所のある一日のスケッチ」

7月初めから長梅雨の今日この頃、宅幼老所では玄関の柱の上に、2つ目のツバメの巣ができています。巢作りの時に、材料の泥が落ちても落ちても運んできた、親ツバメの努力で出来上がった

もので、そこには雛が生まれ育っています。

フロアーに入るとテーブルにはご利用者様や職員が持ち寄った草花が飾られ、利用者様たちは、触って観察なさったり、スケッチをなさったりして、様々に楽しんでおいでです。

天井からは仙台の七夕飾りに似たカラフルな吹き流しがいくつもさがり、お花紙で出来た金魚も泳いでいます。全てがご利用者様の作品で、製作途中のやり取りや、楽しげなおしゃべりを載せて、個性豊かに下がっています。

七夕の短冊には様々な願い事が書かれ、私達は少しでも願い事が叶うようお手伝いできればと思います。

日中は、職員が手作りした絵札の絵合わせゲームに夢中になられたり、手作りのクラブでゲートボールボウリングをされたり、とにかくおしゃべりが大好きで一日おしゃべりをして過ごされたりと、その方々の個性や生き方を表しながらワイワイと盛り上がり、楽しまれています。いつまでも健やかに楽しく過ごされる事を願うひと時です。

(H)

グループホームから

「七夕と野菜の収穫」1階

今のコロナ禍の中で、七夕の短冊にも変化があ



りました。例年多い「食べたい」がほとんどなく、面会も外出もままならない状況下、奥様、息子様を氣遣い、ご自分が元氣でいることで「家族が安心できる」という内容、又「朝お風呂に入れるのが嬉しい」「優しく声を掛けてもらえて嬉しい」といった内容が多く、これらは願いや願望というよりも、職員へのねぎらいとも取れて、より一層お一人お一人に寄り添った関わりが必要と思いました。

又、ある入居者様はどんなささいな事もお手伝いすると必ず「よかったよ」と言ってお下さいます。それが私達の仕事だからと伝えすると「だって有り難いよう」とおっしゃいます。

用で呼ばれた際、手が離せず本来なら「5分だけ待ってください」と言うべきところ「今忙しいから待っていて」なんて言ってしまう時もある自分を恥ずかしく思います。入居者様にとって私達が日々の暮らしにおいて唯一の頼りだという事を忘れがちでした。

さて梅雨の晴れ間、入居者様と近くの畑へ行きました。すっかり巨大化したきゅうりを見て農業経験のあるその方から「こんなに大きくしたら木が弱っちゃうよ」「草取りをしなきゃだめじゃな



pixta.jp - 25632125

い」等と、注意を受けつつ袋いっぱい収穫してきました。お化けきゅうりは浅漬けに、なすは油炒めで美味しくいただきました。まだ当分味わえそうです。

当地は今のところ災害もなく、平穩に生活できる事を有り難く思います。

人それぞれ「大切なもの」は違いますが、平凡な暮らしがどれほど幸せな事か気付かされたこの頃です。

「七夕の願い事」2階

七夕の日を迎える少し前、ご利用者様と一緒に短冊に願い事を書き笹に吊るしました。

皆さんそれぞれ思い思いの願い事を書いておられました。御自分の事よりも、このコロナ禍の中で家族の安全や健康を願っておられる内容ばかりで、家族を大切にしておられる様子が伝わってきて素敵な願い事ばかりでした。

皆さんの思いが届きますように、。

フードバンク・無料塾

- ・7月19日は16人が参加してくれました。
- ・8月23日(日)10時からです。100円食堂のお手伝いを募集しています。フードバンクについても連絡して下ればお届けます。



放課後等デイ

「夏休みが始まった!」

コロナ休校の影響で短くなった夏休みです。短くても子どもにとっては、楽しい夏休みです。タイミングよく梅雨も明けました。ひなたぼっこ、プールもやっと開くことが出来ます。

学習をして、みんなで涼しい高原に出かけます。帰って来たら、お弁当を食べて「さあ!プール。」とプールに向かう子ども達です。縦2メートル横4メートルの小さなプールですが、子ども達には楽しくて仕方がないのです。「先生、見てみて!」と水に顔を付けて見せてくれる子や、すーっと蹴伸びを見せてくれる子、はたまた、支援者が近付くとニヤッと笑って、ひたすら水をかけてくる子など、さまざまにプールを楽しんでいます。

写真は、友達の頭から水をかけてあげているところです。親切にしてあげているつもりですが、かけられる方は「ちょっと迷惑・・・」って、という表情なのです。



理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 02666-61-2335

FAX 02666-61-2336

